

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	生物学			学年	1
講師名	植原 治	単位数	2	コマ数	15
教科目標 「生物学」は生物を理解する学問であり、理解の対象は生物である。生理学(国家試験科目)□を学習する上で、その基礎となる生物学の理解を目標とする。□					
講 義 内 容	1	細胞			
	2	血液			
	3	循環			
	4	呼吸			
	5	栄養			
	6	消化			
	7	吸収			
	8	まとめと確認テスト			
	9	体温			
	10	骨			
	11	排泄			
	12	内分泌			
	13	内分泌			
	14	まとめ			
	15	試験			
		終講時試験			

評価方法	小テスト・定期試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名		発行所
	生物学□		医歯薬出版
	生理学 第3版		医歯薬出版

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	情報科学			学年	1
講師名	須藤 香	単位数	1	コマ数	15
教科目標					
OA機器の操作の基本を習得し、情報社会に通用する人材の育成を図る。					
講 義 内 容	1	導入(注意事項確認、起動、ログイン)、環境確認、ウォーミングアップ(Word,Excel,PowerPoint)			
	2	テキスト第2章:ビジネス文書の作成、練習問題			
	3	テキスト第3章:グラフィック機能			
	4	文書の作成、図形描画の復習、表作成			
	5	前回課題の提出、図形描画機能			
	6	SmartArt作成、PowerPoint基本操作～活用			
	7	プレゼンテーションの作成			
	8	PowerPoint基本操作、画面切り替え、アニメーション効果			
	9	プレゼンテーション発表上の注意確認、最終課題作成、グループ発表			
	10	発表内容の最終確認、全体発表			
	11	PowerPoint-全体発表、Excelの基本操作			
	12	Excelの基本操作、書式設定、関数、絶対参照			
	13	関数、絶対参照、書式設定の復習、列、行の操作			
	14	表作成の総まとめ、グラフの作成			
	15	Word最終課題			
		終講時試験			

評価方法	実技試験・課題作成		
評 価 基 準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所
	MicrosoftOfficeWord2016 &Excel2016&PowerPoint2016		富士通エフ・オー・エム

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	栄養学Ⅰ			学年	1
講師名	榎 房子	単位数	2	コマ数	15
教科目標 一般の方から選手まで、日常からスポーツ現場まで、多くの現場で役立てられる栄養摂取の知識と重要性を身につける。					
講 義 内 容	1	健康と栄養 五大栄養素の役割			
	2	日常生活と栄養			
	3	日常生活と栄養			
	4	栄養指導・保健指導 各疾患に対しての運動指導			
	5	食物と栄養 栄養素とその働き			
	6	食物と栄養 食物の摂取と消化・吸収			
	7	ライフステージと健康教育			
	8	運動と栄養 身体組成とエネルギー代謝、スポーツ栄養マネジメント			
	9	スポーツ選手の競技力向上と栄養 種目別特定の分類と食事			
	10	スポーツ選手の競技力向上と栄養 競技力向上のための食事			
	11	スポーツ選手の競技力向上と栄養 水分補給・食事管理、栄養サポート			
	12	健康増進と栄養 健康日本21 日本人の食事摂取基準			
	13	健康増進と栄養 食事バランス			
	14	健康増進と栄養 食育について			
	15	まとめ			
		終講時試験			

評価方法	試験		
評価基準	新 G P A （ 新 評 価 ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び 参考図書	書籍名		発行所
	トレーニング指導者テキスト		NPO法人日本トレーニング指導者協会 大修館書店

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	心理学			学年	1
講師名	山口 司	単位数	2	コマ数	15
教科目標					
OA機器の操作の基本を習得させ、情報社会に通用する人材の育成を図る。					
講 義 内 容	1	自己紹介／心理学の歴史			
	2	心理学の歴史／血液型と心理学			
	3	知覚・記憶			
	4	欲求・感情			
	5	発達			
	6	自己～自己開示			
	7	集団行動～社会的促進・同調・服従			
	8	集団意志決定			
	9	援助行動			
	10	コミュニケーション・スキル①			
	11	コミュニケーション・スキル②／恋愛関係①			
	12	恋愛関係②			
	13	スポーツ心理学①運動と心理に関する基礎理論			
	14	スポーツ心理学②スポーツ選手の競技力向上への活用			
	15	スポーツ心理学③一般人の健康増進への活用			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新 G P A （ 新 評 価 ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び 参考図書	書籍名		発行所

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	英 語			学年	1
講師名	榎本 卓史	単位数	2	コマ数	15
教科目標 日常会話や医療英語の習得に力点をおき、外国人に対応できる人材を育成する。					
講 義 内 容	1	Chapter 1 受付			
	2	Chapter 2 病院案内			
	3	Chapter 3 症状(1)痛み			
	4	Chapter 4 症状(2)その他			
	5	Chapter 5 問診(1)既往歴・家族歴			
	6	Chapter 6 問診(2)アレルギー・生活習慣			
	7	Chapter 7 内科(1)身体計測・診察時の表現			
	8	Chapter 8 内科(2)バイタルサインの測定			
	9	Chapter 9 外科			
	10	Chapter 10 検査と処置			
	11	Chapter 11 救急患者			
	12	Chapter 12 整形外科・治療院			
	13	Chapter 13 リハビリテーション(1)			
	14	Chapter 14 リハビリテーション(2)			
	15	Chapter 15 鍼灸院での治療			
		終講時試験(Writing)			

評価方法		筆記試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教科書及び 参考図書	書籍名		著者名	発行所
	医療英語コミュニケーション		ILC国際語学センター	滋慶教育科学研究所

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	解剖学Ⅰ			学年	1
講師名	宮越 俊明	単位数	4	コマ数	30
教科目標 人体の構造と主たる機能について系統別(骨学・筋学)に学ぶ。					
講 義 内 容	1	人体の構成・人体の区分と方向	16	第10章 運動器系(股関節を構成する骨格)	
	2	骨組織について	17	第10章 運動器系(股関節を構成する骨格)	
	3	骨組織について	18	第10章 運動器系(外寛骨筋/内寛骨筋)	
	4	骨組織について(骨の連結/関節の種類)	19	第10章 運動器系(外寛骨筋/内寛骨筋)	
	5	筋組織について(起始・停止)	20	第10章 運動器系(足根骨の関節)	
	6	筋組織について(種類について)	21	第10章 運動器系(足根骨の関節/足の筋)	
	7	第10章 運動器系(足関節を構成する骨格)	22	第10章 運動器系(肩関節を構成する骨格)	
	8	第10章 運動器系(足関節を構成する骨格)	23	第10章 運動器系(肩関節を構成する骨格)	
	9	第10章 運動器系(足関節を構成する骨格)	24	第10章 運動器系(肩関節に関与する筋)	
	10	第10章 運動器系(下腿の筋)	25	第10章 運動器系(肩関節に関与する筋)	
	11	第10章 運動器系(下腿の筋)	26	第10章 運動器系(肩関節に関与する筋)	
	12	第10章 運動器系(膝関節を構成する骨格)	27	第10章 運動器系(肘関節を構成する骨格)	
	13	第10章 運動器系(大腿の筋)	28	第10章 運動器系(肘関節に関与する筋)	
	14	第10章 運動器系(大腿の筋)	29	第10章 運動器系(手関節を構成する骨格)	
	15	第10章 運動器系(大腿の筋)	30	第10章 運動器系(手関節を構成する骨格)	
		試験		終講時試験	

評価方法	筆記試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所
	解剖学	河野邦雄・伊藤隆造他	医歯薬出版株式会社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	解剖学Ⅱ			学年	1
講師名	中嶋 征一	単位数	4	コマ数	30
教科目標 人体の構造と主たる機能について系統別(内臓学)に学ぶ。					
講 義 内 容	1	第4章 消化器系(基本構造)	16	試験解説	
	2	第4章 消化器系(口腔/舌)	17	第3章 呼吸器系(肺胞/胸膜)	
	3	第4章 消化器系(歯/唾液腺)	18	第3章 呼吸器系(縦隔)/第5章 泌尿器系(腎臓【肉眼組織】)	
	4	第4章 消化器系(咽頭/食道)	19	第5章 泌尿器系(腎臓【ネフロン/血管】)	
	5	第4章 消化器系(胃/十二指腸)	20	第5章 泌尿器系(濾過膜/傍糸球体装置)	
	6	第4章 消化器系(空腸/回腸)	21	第5章 泌尿器系(尿管/膀胱/尿道)	
	7	第4章 消化器系(大腸)	22	第6章 生殖器系(精巣/精巣上体)	
	8	第4章 消化器系(肝臓)	23	第6章 生殖器系(精管/精囊/前立腺/尿道球腺)	
	9	第4章 消化器系(肝臓)	24	第6章 生殖器系(陰茎/陰囊/精液)	
	10	第4章 消化器系(胆嚢/膵臓)	25	第6章 生殖器系(卵巣/卵管)	
	11	第4章 消化器系(腹膜/消化器復習)	26	第6章 生殖器系(子宮)	
	12	第3章 呼吸器系(鼻腔)	27	第6章 生殖器系(陰/外生殖器/受精)	
	13	第3章 呼吸器系(副鼻腔/喉頭)	28	呼吸器系復習	
	14	第3章 呼吸器系(喉頭/気管/気管支)	29	泌尿器系・生殖器系復習	
	15	第3章 呼吸器系(肺)		終講時試験	
		試験	30	試験解説	

評価方法	筆記試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所
	解剖学	河野邦雄・伊藤隆造他	医歯薬出版株式会社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	運動学			学年	1
講師名	水森 貴子	単位数	2	コマ数	15
教科目標					
人間の運動にかかわる身体の機能を構造について学ぶ					
講 義 内 容	1	オリエンテーション・運動、面と軸			
	2	身体重心の算出方法			
	3	運動のテコ、関節の構造			
	4	骨の構造・肩関節の運動学①			
	5	肩関節の運動学②			
	6	肘関節・前腕の運動学			
	7	肘関節・前腕の運動学・手関節手指の運動学			
	8	手指の筋と運動			
	9	股関節の運動学①			
	10	股関節の運動学②			
	11	膝関節の運動学			
	12	足関節の運動学①			
	13	足関節の運動学②			
	14	脊柱の運動学			
	15	姿勢・歩行の運動学			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新 G P A （ 新 評 価 ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び 参考図書	書籍名	著者名	発行所
	解剖学	河野邦雄・伊藤隆造	東洋療法学校協会
	基礎運動学	中村 隆一他	医歯薬出版株式会社

単位認定

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	生理学 I			学年	1
講師名	石井 久淑	単位数	4	コマ数	30
教科目標 人体機能の物理的・化学的な仕組みを学習し、生体の全機性や生体保持について総論的に学習する。					
講 義 内 容	1	生理学の基礎 I -1.生理学の特徴(生命現象・生体の恒常性・個体の成り立ち)			
	2	生理学の基礎 II -2.細胞の構造と機能(細胞膜・細胞質・ゴルジ装置・ミトコンドリアなど)			
	3	生理学の基礎 III -3.物質代謝の仕組み、4.体液の組成と働き、5.物質の移動			
	4	血液 I -1.血液の組成と働き(赤血球・白血球・血小板・血漿)			
	5	血液 II -2.血液凝固の仕組み(血液凝固系・線維素溶解系)			
	6	血液 III -3.血液型(ABO式血液型・Rh式血液型・血液不適合輸血)			
	7	生理学の基礎及び血液のまとめと小テスト			
	8	神経 I -1.神経系のあらまし、2.ニューロンの構造と働き			
	9	神経 II -3.神経線維の興奮と伝導①(静止電位・活動電位)			
	10	神経 III -3.神経線維の興奮と伝導②(興奮の伝導)			
	11	神経 IV -4.興奮の伝達(シナプス・神経伝達物質・受容体)			
	12	神経 V -5.末梢神経系(末梢神経系の分類と機能)			
	13	神経 VI -6.中枢神経系①(分類と機能の概要・脊髄・脳幹・間脳)			
	14	神経 VII -6.中枢神経系②(小脳・大脳基底核・大脳・脳波・脳脊髄液)			
	15	神経系のまとめと小テスト			
		終講時試験 前期中間試験問題の解説			
	16	自律神経性調節 I -1.自律神経系の特徴(交感神経・副交感神経・内臓求心性神経など)			
	17	自律神経性調節 II -2.自律神経系の神経伝達物質と受容体			
	18	自律神経性調節 III -3.自律神経系の中核、4.自律神経反射			
	19	自律神経系のまとめと小テスト			
	20	筋 I -1.骨格筋の構造と働き(骨格筋の作用・筋線維と筋原線維・筋の微細構造)			
	21	筋 II -2.筋収縮の仕組み(興奮収縮連関・等張性及び等尺性収縮・単収縮と強縮)			
	22	筋 III -3.筋のエネルギー供給の仕組み(筋収縮のエネルギー代謝・筋の熱産生)			
	23	筋 IV -4.心筋と平滑筋の構造と働き			
	24	筋のまとめと小テスト			
	25	運動 I -1.骨格筋の神経支配①(運動単位・ α 及び γ 運動ニューロン・筋紡錘・腱受容器)			
	26	運動 II -1.骨格筋の神経支配②(α - γ 連関・神経筋接合部・筋トームス)			
	27	運動 III -2.運動の調節①(脊髄による調節・伸張反射・屈曲反射・長脊髓反射)			
	28	運動 IV -2.運動の調節②(脳幹、小脳及び大脳基底核による調節)			
	29	運動 V -2.運動の調節③(大脳皮質による調節・発生と言語・歩行運動・呼吸運動)			
	30	運動のまとめと小テスト			

		終講時試験
--	--	-------

評価方法		筆記試験	
評価基準	新評価 (GPA)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び 参考図書	書籍名	著者名	発行所
	生理学 第2版	東洋療法学校協会編	医歯薬出版株式会社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	生理学Ⅱ			学年	1
講師名	石井 久淑	単位数	4	コマ数	30
教科目標 人体機能の物理的・化学的な仕組みを学習し、生体の全機性や生体保持について総論的に学習する。					
講 義 内 容	1	感覚Ⅰ-1.感覚の一般(感覚とその分類・感覚の一般的な性質・受容器と興奮伝達)			
	2	感覚Ⅱ-2.体性感覚(皮膚感覚・深部感覚)			
	3	感覚Ⅲ-3.内臓感覚、4.痛覚(痛みの分類・内因性発痛物質・痛みの抑制系など)			
	4	感覚Ⅳ-5.特殊感覚①(味覚・嗅覚・聴覚・平衡感覚)			
	5	感覚Ⅴ-5.特殊感覚②(視覚)			
	6	感覚のまとめと小テスト			
	7	循環Ⅰ-1.心臓血管系(体循環と肺循環・動脈と静脈)			
	8	循環Ⅱ-2.心臓(心臓の構造と機能・心筋の基本的性質・心機能の調節など)			
	9	循環Ⅲ-3.血管系の構造と機能(血管の構造・毛細血管の循環・血管の神経支配など)			
	10	循環Ⅳ-4.血圧、5.循環の調節			
	11	循環Ⅴ-6.特殊な部位の循環、7.リンパ系			
	12	循環のまとめと小テスト			
	13	呼吸Ⅰ-1.呼吸器系の構造と機能、2.呼吸運動、3.肺機能			
	14	呼吸Ⅱ-4.ガス交換とガスの運搬、5.呼吸運動の調節			
	15	呼吸のまとめと小テスト			
		中間試験 中間試験問題の解説			
	16	消化と吸収Ⅰ-1.消化管の構造と機能、2.口腔内の消化、3.胃内の消化			
	17	消化と吸収Ⅱ-4.小腸内の消化と吸収、5.大腸内の消化と吸収、6.直腸、肛門と排便			
	18	消化と吸収Ⅲ-7.消化管ホルモン、8.肝臓の働き			
	19	消化・吸収のまとめと小テスト			
	20	体温調節Ⅰ-1.体温の部位差と変動、2.体熱の産生と放散の仕組み			
	21	体温調節Ⅱ-3.体温調節の仕組み(寒冷暴露、暑熱環境での体温調節・体温調節障害)			
	22	排泄Ⅰ-1.腎臓の構造と働き、2.尿の組成			
	23	排泄Ⅱ-3.腎臓における体液調節、4.蓄尿と排尿			
	24	体温調節及び排泄のまとめと小テスト			
	25	内分泌Ⅰ-1.ホルモンの一般的特徴			
	26	内分泌Ⅱ-2.各内分泌腺の働き①(視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺ホルモン)			
	27	内分泌Ⅲ-2.各内分泌腺の働き②(膵臓、副腎、性腺から分泌されるホルモン)			
	28	生殖・成長と老化Ⅰ-1.生殖(男性生殖器、女性生殖器、性周期、妊娠)			
	29	生殖・成長と老化Ⅱ-2.成長、3.老化			
	30	内分泌及び生殖のまとめと小テスト			

		終講時試験
--	--	-------

評価方法		筆記試験	
評価基準	新GPA評価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名		発行所
	生理学 第2版		東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	臨床医学総論 I			学年	1
講師名	宮越 俊明	単位数	2	コマ数	15
教科目標 疾病の診断方法及び観察検査の一般について学習し、実際の臨床応用に適応する知識と技能を習得する。 西洋医学的診断術の基礎を学ぶ。					
講 義 内 容	1	オリエンテーション・第1章 診察の概要			
	2	第1章 診察の概要・第2章 診察の方法			
	3	第2章 診察の方法			
	4	第2章 診察の方法			
	5	第3章 生命徴候(バイタルサイン)の診察			
	6	第3章 生命徴候(バイタルサイン)の診察			
	7	第3章 生命徴候(バイタルサイン)の診察			
	8	第3章 生命徴候(バイタルサイン)の診察			
	9	第4章 全身の診察			
	10	第4章 全身の診察			
	11	第4章 全身の診察			
	12	第4章 全身の診察			
	13	第4章 全身の診察・第5章 局所の診察			
	14	第5章 局所の診察			
	15	第5章 局所の診察			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名		発行所
	臨床医学総論		東洋療法学校協会
	診察と手技がみえる		メディックメディア

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	医療概論			学年	1
講師名	常通 道夫	単位数	1	コマ数	8
教科目標 医史により先人の偉業を学び、医の倫理を中心に学習を進め、医療を担う人間の多様な価値観や寛容の精神を養う。					
講 義 内 容	1	医療とは何か/職業倫理について			
	2	医療とは何か/東洋医学について			
	3	社会的義務・社会保障制度について			
	4	中世の医学			
	5	中国医療について			
	6	日本の医学と医療の歴史について			
	7	近代の医学			
	8	現代の医学と医療/医療従事者の倫理			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新GPA評価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
		単位認定	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所
	医療概論	中川米造	医歯薬出版株式会社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	東洋医学概論Ⅰ			学年	1
講師名	常通 道夫	単位数	2	コマ数	15
教科目標 鍼灸治療を行うにあたり必要な基本的な思想・哲学・診断法などの知識を学ぶ。					
講 義 内 容	1	第1章 第1節 東洋医学の起源・第2節 人体の見方(天人合一思想)			
	2	第1章 第3節 東洋医学の治療・第3章 陰陽論			
	3	第3章 五行学説(相生・相克・相乗・相侮)			
	4	第3章 五行色体表(自然界の五行)			
	5	第3章 五行色体表(人体の五行)			
	6	第2章 生理と病理(精について)			
	7	第2章 気・血の生理			
	8	第2章 生体物質における相互作用			
	9	第2章 神の概念と病理			
	10	第2章 人体における陰陽			
	11	第2章 蔵象学説			
	12	第2章 肝系統			
	13	第2章 心系統			
	14	第2章 脾系統			
	15	第2章 肺系統			
		終講時試験			

評価方法		筆記試験	
評価基準	新GPA評価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所
	東洋医学概論		医道の日本社
	図で見る東洋医学		医道の日本社
	漢語林		大衆館書店

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	東洋医学概論Ⅱ			学年	2
講師名	常通 道夫	単位数	2	コマ数	15
教科目標 鍼灸治療を行うにあたり必要な思想・哲学・診断法などの知識を学ぶ。					
講 義 内 容	1	第2章 腎系統・三焦			
	2	第2章 五臓の相互作用(心脾肝の関係)			
	3	第2章 心肺腎の関係			
	4	第2章 脾肝腎の関係			
	5	第2章 脾肝腎の関係			
	6	第2章 六腑の協調関係			
	7	第2章 全身の気機			
	8	第2章 気機の相互作用			
	9	第2章 経絡			
	10	第2章 病因			
	11	第2章 内傷病因			
	12	第2章 病機			
	13	第3章 内生五邪			
	14	第4章 四診 第1節望診			
	15	舌診			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び 参考図書	書籍名	著者名	発行所
	東洋医学概論		医道の日本社
	図で見る東洋医学		医道の日本社
	漢語林		大衆館書店

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	経絡経穴概論Ⅰ			学年	1
講師名	本田 裕宣	単位数	2	コマ数	15
教科目標 東洋医学の基本となる気の流れを知り、施術に用いる経穴の名前、場所、主治を理解し身体の解剖学的な位置との関わりを理解する。					
講 義 内 容	1	東洋医学の身体観の把握、オリエンテーション			
	2	経絡経穴について正経十二経、骨度法について			
	3	骨度法について			
	4	経穴の取り方に必要な用語			
	5	督脈			
	6	督脈			
	7	任脈			
	8	督任復習、手の太陰肺経			
	9	手の陽明大腸経			
	10	足の陽明胃経(前半)			
	11	足の陽明胃経(後半)			
	12	足の太陰脾経			
	13	足の太陰脾経(後半)			
	14	手の少陰心経			
	15	まとめ			
		試験			

評価方法		実技試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教科書及び 参考図書	書籍名		著者名	発行所
	新版 経絡経穴概論			医道の日本社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	経絡経穴概論Ⅱ			学年	1
講師名	本田 裕宣	単位数	2	コマ数	15
教科目標 東洋医学の基本となる気の流れを知り、施術に用いる経穴の名前、場所、主治を理解し身体の解剖学的な位置との関わりを理解する。					
講 義 内 容	1	手の太陽小腸経			
	2	手の太陽小腸経			
	3	足の太陽膀胱経(前半)			
	4	足の太陽膀胱経(中半)			
	5	足の太陽膀胱経(後半)			
	6	足の少陰腎経			
	7	足の少陰腎経			
	8	手の厥陰心包経			
	9	手の少陽三焦経			
	10	手の少陽三焦経			
	11	足の少陽胆経			
	12	足の少陽胆経			
	13	足の厥陰肝経			
	14	奇経八脈			
	15	まとめ			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所
	新版 経絡経穴概論	教科書執筆小委員会	医道の日本社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	はりきゅう理論Ⅰ			学年	1
講師名	宮越 俊明	単位数	1	コマ数	8
教科目標					
鍼灸師にとって必要な基礎知識を学び鍼灸治療に対して理解を深める					
講 義 内 容	1	イントロダクション・概論について			
	2	鍼の基礎知識について・刺鍼の方式と術式について			
	3	刺鍼の方式と術式について・特殊鍼法について			
	4	特殊鍼法について			
	5	灸の基礎知識について			
	6	灸術の種類について			
	7	灸術の種類について			
	8	鍼灸の臨床応用について			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新GPA評価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名		発行所
	はりきゅう理論		東洋療法学校協会
	図解 鍼灸臨床マニュアル		尾崎 昭弘
	鍼灸医療安全ガイドライン		尾崎 昭弘・坂本 歩

単位認定

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	体表観察 I			学年	1
講師名	本田 裕宣	単位数	1	コマ数	15
教科目標 東洋医学の基本となる気の流れを知り、施術に用いる経穴の名前、場所、主治を理解し身体の解剖学的な位置との関わりを理解する。					
講 義 内 容	1	講義内容について、解剖学的基本肢位、骨度法			
	2	骨度法の復習、督脈；背部・腰部の筋・骨(棘突起の触知)			
	3	前回の復習、督脈；背部・腰部の取穴			
	4	前回の復習、足の太陽膀胱経；背部の筋・骨			
	5	前回の復習、足の太陽膀胱経；背部の取穴			
	6	前回の復習、手の太陰肺経；前腕前面の筋・骨			
	7	前回の復習、手の太陰肺経；前腕前面の取穴			
	8	前回の復習、手の陽明大腸経；前腕後面の筋・骨			
	9	前回の復習、手の陽明大腸経；前腕後面の取穴			
	10	前回の復習、足の陽明胃経；下腿前面の筋・骨			
	11	前回の復習、足の陽明胃経；下腿前面の取穴			
	12	前回の復習、足の太陰脾経；下腿内側の筋・骨			
	13	前回の復習、足の太陰脾経；下腿内側の取穴			
	14	前回の復習、手の少陰心経；前腕前面の筋・骨			
	15	前回の復習、手の少陰心経；前腕前面の取穴			
		試験			

評価方法	実技試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所
	新版 経絡経穴概論	教科書執筆小委員会	医道の日本社
	解剖学 第2版		医道の日本社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	体表観察Ⅱ			学年	1
講師名	本田 裕宣	単位数	1	コマ数	15
教科目標 東洋医学の基本となる気の流れを知り、施術に用いる経穴の名前、場所、主治を理解し身体の解剖学的な位置との関わりを理解する。					
講 義 内 容	1	前回の復習, 手の太陽小腸経; 前腕後面の筋・骨			
	2	前回の復習, 手の太陽小腸経; 前腕後面の取穴			
	3	前回の復習, 足の太陽膀胱経; 下腿後面の筋・骨			
	4	前回の復習, 足の太陽膀胱経; 下腿後面の取穴			
	5	前回の復習, 足の少陰腎経; 下腿内側の筋・骨			
	6	前回の復習, 足の少陰腎経; 下腿内側の取穴			
	7	前回の復習, 手の厥陰心包経; 前腕前面の筋・骨			
	8	前回の復習, 手の厥陰心包経; 前腕前面の取穴			
	9	前回の復習, 手の少陽三焦経; 前腕後面の筋・骨			
	10	前回の復習, 手の少陽三焦経; 前腕後面の取穴			
	11	前回の復習, 足の少陽胆経; 下腿外側の筋・骨			
	12	前回の復習, 足の少陽胆経; 下腿外側の取穴			
	13	前回の復習, 足の厥陰肝経; 下腿外側の筋・			
	14	前回の復習, 足の厥陰肝経; 下腿外側の取穴			
	15	まとめ			
		試験			

評価方法	実技試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上): 教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点): 教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点): 教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点): 教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格): 教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所
	新版 経絡経穴概論	教科書執筆小委員会	医道の日本社
	解剖学 第2版		医道の日本社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	基礎はり実技			学年	2
講師名	水森 貴子	単位数	2	コマ数	45
教科目標 鍼灸師になるために必要な基礎知識を学び、刺鍼の基礎技術を習得する。また、鍼用具、手指等の清潔保持、施術者としての身だしなみやマナーを身につける。					
講 義 内 容	1	実習室のルール・鍼術とは・鍼具の名称・鍼体長・鍼体径・手指洗浄・消毒法			
	2	前回の復習・鍼の基本実技 管鍼法、押手とば・刺鍼練習用枕での片手・両手挿管操作の基本練習			
	3	前回の復習・鍼の基本実技 刺鍼練習用枕での片手挿管操作の基本練習・鍼枕への刺鍼(旋撚刺法について)			
	4	前回の復習・鍼の基本実技 刺鍼練習用枕での片手挿管操作の基本練習・鍼枕への刺鍼(前揉法・後揉法について)			
	5	前回の復習・鍼の基本実技 刺鍼練習用枕での片手挿管操作の基本練習・鍼枕への刺鍼(人体への刺鍼の流れについて)			
	6	前回の復習・鍼の基本実技 刺鍼練習用枕での片手挿管操作の基本練習・鍼枕への刺鍼(刺入寸度)			
	7	前回の復習・鍼の基本実技 刺鍼練習用枕での片手挿管操作の基本練習・鍼枕への刺鍼(まとめ)			
	8	鍼の基本実技 小テスト(片手挿管法・旋撚刺法)			
	9	鍼の基本実技 消毒法について、施術における体位、安全・過誤について			
	10	鍼の基本実技 消毒法について、各自の大腿前面における切皮・刺鍼			
	11	各自の下腿前面(胃経)における切皮と旋撚刺入の練習、下腿前面への刺鍼練習			
	12	消毒法・ワコンの使い方、タオルのかけ方について、下腿前面(胃経; 足三里)の取穴・刺鍼練習			
	13	鍼の基本実技 消毒法について、各自の大腿前面における切皮・刺鍼			
	14	各自の下腿前面(胃経)における切皮と旋撚刺入の練習、下腿前面への刺鍼練習			
	15	まとめ			
		試験			
	16	消毒法・ワコンの使い方、タオルのかけ方について、下腿前面(胃経; 足三里)の取穴・刺鍼練習			
	17	下腿前面(胃経; 足三里・豊隆)の取穴・刺鍼練習			
	18	下腿外側(胆経; 陽陵泉・懸鐘)の取穴・刺鍼練習			
	19	下腿後面(膀胱経; 承山)の取穴・刺鍼練習			
	20	下腿内側(脾経; 陰陵泉, 三陰交)の取穴・刺鍼練習			
	21	下腿内側(脾経; 陰陵泉, 三陰交)の取穴・刺鍼練習			
	22	膝部(梁丘・血海)の取穴・刺鍼練習			
	23	膝部(委中)の取穴・刺鍼練習			
	24	足関節部(崑崙・中封)の取穴・刺鍼練習			
	25	足指部(足臨泣・至陰)の取穴・刺鍼練習			
	26	前腕前面(心包経; 内関・郄門)の取穴・刺鍼練習(斜刺)			
	27	前腕後面(三焦経; 外関・四瀆)の取穴・刺鍼練習(斜刺)			
	28	前腕外側(大腸経; 手三里・曲池)の取穴・刺鍼練習(斜刺・直刺)			
	29	肘関節部(肺経; 尺沢)の取穴・刺鍼練習			

30	手関節部(太淵・神門)の取穴・刺鍼練習
31	手関節部(陽溪・陽谷)の取穴・刺鍼練習
32	手指部(合谷・中渚)の取穴・刺鍼練習
33	手指部(後溪・魚際)の取穴・刺鍼練習
34	腰部(腰陽関・大腸兪)の取穴・刺鍼練習(直刺・斜刺)
35	腰部(命門・腎兪)の取穴・刺鍼練習(直刺・斜刺)
36	腰部(大腸兪・腎兪)の取穴・刺鍼練習(斜刺)
37	肩部(天宗)の取穴・刺鍼練習
38	下腿内側(脾経・蠡溝・中都)の取穴・刺鍼練習(横刺)
39	下腿内側(脾経・蠡溝・中都)の取穴・刺鍼練習(横刺)
40	頭部(百会・頭維)の取穴・刺鍼練習
41	顔面部(攢竹・陽白)の取穴・刺鍼練習
42	背部(膈兪・肝兪・脾兪)の取穴・刺鍼練習
43	背部(膈兪・肝兪・脾兪)の取穴・刺鍼練習
44	肩部(肩井)の取穴・刺鍼練習
45	頸部(天柱・風池)の取穴・刺鍼練習
	終講時試験

評価方法		実技試験		
評価基準	新GPA評価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教科書及び参考図書	書籍名		著者名	発行所
	ずっと使える！鍼灸臨床BOOK			株式会社滋慶出版
	新版 経絡経穴概論			医道の日本社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	基礎きゅう実技			学年	1
講師名	本田 裕宣	単位数	2	コマ数	45
教科目標 鍼灸師になるために必要な基礎知識を学び、刺鍼の基礎技術を習得する。また、鍼用具、手指等の清潔保持、施術者としての身だしなみやマナーを身につける。					
講 義 内 容	1	実習室の使い方、衛生的な手洗い			
	2	灸術の定義(復習)、艾の捻り方(米粒大)、点火の方法			
	3	前回までの復習、艾の捻り方(米粒大)、線香による点火			
	4	米粒大の練習、点火			
	5	灸施術の過誤について、米粒大の捻り、点火			
	6	半米粒大、線香での点火、1分間スピード灸			
	7	半米粒大、線香での点火、1分間スピード灸			
	8	スピード灸(1分、5分)、ワゴンの使い方			
	9	スピード灸(1分、5分)、失眠の灸			
	10	スピード灸(1分、5分)、失眠の灸			
	11	スピード灸(1分、5分)、八分灸(米粒大)の練習、下腿の穴(陰経)			
	12	スピード灸(1分、5分)、八分灸(米粒大)の練習、下腿の穴(陽経)			
	13	スピード灸(1分、5分)、八分灸(米粒大)の練習、前腕の穴(陰経)			
	14	スピード灸(1分、5分)、八分灸(米粒大)の練習、前腕の穴(陽経)			
	15	まとめ			
		試験			
	16	スピード灸(1分、5分)、八分灸(米粒大)の練習、腰部の穴			
	17	スピード灸(1分、5分)、八分灸(米粒大)の練習、腰部の穴			
	18	手の経穴(井穴)			
	19	手の経穴(井穴)			
	20	手の経穴(滎穴)			
	21	手の経穴(滎穴)			
	22	手の経穴(腧穴、原穴)			
	23	手の経穴(腧穴、原穴)			
	24	前腕の経穴(肺経、心包経、心経)			
	25	前腕の経穴(肺経、心包経、心経)			
	26	前腕の経穴(大腸経、三焦経、小腸経)			
	27	前腕の経穴(大腸経、三焦経、小腸経)			
	28	足の経穴(井穴)			
	29	足の経穴(井穴)			
	30	足の経穴(滎穴)			

31	足の経穴(榮穴)
32	足の経穴(兪穴、原穴)
33	足の経穴(兪穴、原穴)
34	下腿の経穴(脾経、肝経、腎経)
35	下腿の経穴(脾経、肝経、腎経)
36	下腿の経穴(胃経、膀胱経、胆経)
37	下腿の経穴(胃経、膀胱経、胆経)
38	胃の六つ灸
39	胃の六つ灸
40	隔物灸
41	隔物灸
42	塩灸
43	塩灸
44	まとめ1
45	まとめ2
	終講時試験

評価方法		実技試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教科書及び 参考図書	書籍名		著者名	発行所
	ずっと使える！鍼灸臨床BOOK			株式会社滋慶出版
	新版 経絡経穴概論			医道の日本社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	総合演習 I			学年	1
講師名	宮越 俊明・水森 貴子	単位数	2	コマ数	30
教科目標 はり師・きゅう師になるための基礎的な力や主体的に取り組む姿勢を身につける。専門的知識の理解を深め、卒業後の臨床に必要な知識が説明できるようになる。					
講 義 内 容	1	オリエンテーション			
	2	医療人としての基礎マナー学習			
	3	医療人としての基礎マナー学習			
	4	医療人としての基礎マナー学習			
	5	基礎演習(運動器;下腿の筋・骨)			
	6	基礎演習(運動器;下腿の筋・骨)			
	7	基礎演習(運動器;下腿の筋・骨)			
	8	基礎演習(運動器;下肢の筋・骨)			
	9	基礎演習(運動器;下肢の筋・骨)			
	10	基礎演習(運動器;下肢の筋・骨)			
	11	基礎演習(運動器;前腕の筋・骨)			
	12	基礎演習(運動器;前腕の筋・骨)			
	13	基礎演習(運動器;前腕の筋・骨)			
	14	基礎演習(運動器;上肢の筋・骨)			
	15	基礎演習(運動器;上肢の筋・骨)			
	16	基礎演習(運動器;上肢の筋・骨)			
	17	基礎演習(運動器;体幹の筋・骨)			
	18	基礎演習(運動器;体幹の筋・骨)			
	19	基礎演習(運動器;体幹の筋・骨)			
	20	基礎演習(運動器;体幹の筋・骨)			
	21	基礎演習(運動器;胸腔)			
	22	基礎演習(運動器;胸腔)			
	23	基礎演習(運動器;胸腔)			
	24	基礎演習(運動器;腹腔)			
	25	基礎演習(運動器;腹腔)			
	26	基礎演習(運動器;腹腔)			
	27	基礎演習(運動器;頭部の筋・骨)			
	28	基礎演習(運動器;頭部の筋・骨)			
	29	基礎演習(運動器;頭部の筋・骨)			
	30	まとめ			
		終講時試験			

評価方法		筆記試験		
評価基準	新 評 価 (G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位認定	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教科書及び 参考図書	書籍名		著者名	発行所
	解剖学		河野邦雄・伊藤隆造他	医歯薬出版株式会社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	栄養学Ⅱ			学年	2
講師名	榎 房子	単位数	1	コマ数	8
教科目標					
東洋医学を基本とした栄養学を学び、疾病と食の関係を学ぶ。					
講 義 内 容	1	現代栄養学と中医栄養学の違いについて			
	2	食物の味(五味)と性質(五性)について			
	3	季節と食べ物について(春・夏)			
	4	季節と食べ物について(秋・冬)			
	5	疾病と食べ物について(風邪・疲れ・便秘)			
	6	疾病と食べ物について(高血圧・糖尿病・その他)			
	7	薬膳料理			
	8	薬膳料理			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書 参考図書	書籍名	著者名	発行所
	わかりやすい栄養学 第4版	中村美知子・長谷川恭子	ヌーヴェルヒロカワ
	新ビジュアル食品成分表 新訂第		大修館書店

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	カウンセリング理論			学年	2
講師名	山口 司	単位数	2	コマ数	15
教科目標					
人間関係の中での受容・共感・傾聴の理論と実践を学ぶ。					
講 義 内 容	1	自己紹介とJESC認定カウンセラー資格について			
	2	カウンセリングの歴史、カウンセリングの流れについて			
	3	ロールプレイ①			
	4	カウンセリングの基礎的技法①(言語的技法)			
	5	カウンセリングの基礎的技法②(非言語的技法)			
	6	DVD『グロリアと3人のカウンセラー』			
	7	カウンセリングの理論①(精神分析、行動療法、認知療法、クライエント中心療法)			
	8	カウンセリングの理論②(ゲシュタルト療法、家族療法、遊戯療法など)			
	9	心の病気①(統合失調症、気分障害など)			
	10	心の病気②(発達障害)			
	11	心理アセスメントと心理検査①			
	12	心理アセスメントと心理検査②			
	13	ロールプレイ②			
	14	ロールプレイ③			
	15	ロールプレイ④			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所
	医療/福祉/保育のカウンセリング	滋慶教育科学研究所	滋慶 教育事業部

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	解剖学Ⅲ			学年	2
講師名	中嶋 征一	単位数	2	コマ数	15
教科目標 人体の構造と主たる機能について系統別(内臓学・脈管学)に学ぶ。					
講 義 内 容	1	第6章 生殖器系(胎盤)/第7章 内分泌系(下垂体)			
	2	第7章 内分泌系(松果体/甲状腺/上皮小体)			
	3	第7章 内分泌系(副腎)/第9章 感覚器系(眼球)			
	4	第9章 感覚器系(眼球壁)			
	5	第9章 感覚器系(眼球壁【網膜】)			
	6	第9章 感覚器系(水晶体/硝子体/眼球付属器)			
	7	第9章 感覚器系(眼筋/外耳)			
	8	第9章 感覚器系(中耳/内耳)			
	9	第2章 循環器系(概論/血管の構造/心臓)			
	10	第2章 循環器系(心臓)			
	11	第2章 循環器系(心臓)			
	12	第2章 循環器系(大動脈)			
	13	第2章 循環器系(胸大動脈/腹大動脈)			
	14	第2章 循環器系(骨盤の動脈/上肢の動脈/下肢の動脈)			
	15	第2章 循環器系(頭頸部の動脈)			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所
	解剖学	河野邦雄・伊藤隆造	東洋療法学校協会

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	解剖学Ⅳ			学年	2
講師名	宮越 俊明	単位数	2	コマ数	15
教科目標 運動器系の知識をさらに深め、臨床系の科目に対して知識を継げる。					
講 義 内 容	1	第10章 運動器系(手関節に関わる筋)			
	2	第10章 運動器系(手関節に関わる筋)			
	3	第10章 運動器系(手根骨どうしの関節)			
	4	第10章 運動器系(手の筋)			
	5	第10章 運動器系(脊柱)			
	6	第10章 運動器系(脊柱)			
	7	第10章 運動器系(脊柱/胸郭)			
	8	第10章 運動器系(体幹の筋)			
	9	第10章 運動器系(体幹の筋)			
	10	第10章 運動器系(体幹の筋)			
	11	第10章 運動器系(頭蓋骨)			
	12	第10章 運動器系(頭蓋骨)			
	13	第10章 運動器系(頭蓋骨)			
	14	第10章 運動器系(頭頸部の筋)			
	15	第10章 運動器系(頭頸部の筋)			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評 価 基 準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所
	解剖学	河野邦雄・伊藤隆造	東洋療法学校協会

単位認定

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	生理学Ⅲ			学年	1
講師名	佐藤 寿哉	単位数	2	コマ数	15
教科目標 人体を構成する9つのシステム（神経、感覚、運動、循環、呼吸、消化、排泄、生殖）の基本的な知識を再確認し、生命現象を深く理解する基盤を構築する。					
講 義 内 容	1	生理学の基礎・細胞			
	2	血液・体液：体液の組成、膠質浸透圧と浮腫の形成、血液凝固、血液型、血液細胞の機能			
	3	循環：心臓の構造と機能、心周期、血圧、心電図、全身循環調節			
	4	呼吸：呼吸運動と肺気量、ガス交換、血液ガスの運搬と緩衝系、呼吸調節機能			
	5	消化吸收：消化器の構造、3大栄養素の消化、消化管運動、消化管ホルモン、栄養素の吸収			
	6	代謝・体温：エネルギー代謝とATP生成、基礎代謝、体熱の生産と放出、体熱の異常			
	7	排泄：腎臓の構造と機能、有効濾過圧、尿細管での分泌再吸収、傍系球体装置、腎クリアランス			
	8	内分泌1：内分泌腺、ホルモンの分類、ホルモンの調節、視床下部下垂体系のホルモン			
	9	内分泌2：甲状腺、副甲状腺、副腎髄質・皮質、生殖腺のホルモン他； 成長と老化			
	10	神経1：中枢神経、神経系の分類、大脳皮質、基底核、辺縁系、間脳、脳幹の構造と機能			
	11	神経2：末梢神経、脊髄神経と脳神経の役割、自律神経の役割			
	12	筋肉：筋肉の構造と分類、骨格筋の機能、興奮収縮連関、筋収縮とエネルギー、心筋と平滑筋			
	13	運動：骨と筋肉の構造、骨格筋の神経支配、運動反射			
	14	体性感覚：感覚の基本的性質、皮膚感覚と深部感覚、感覚器の構造と機能			
	15	特殊感覚：化学感覚（味覚、嗅覚）の受容器と中枢投射経路、視覚聴覚平衡覚の受容器と投射経路			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新 G P A （ 新 評 価 ）	A(90点以上)：教科目標を高い水準で達成している。	単位認定
		B(80～89点)：教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点)：教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点)：教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格)：教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所
	生理学 第2版	東洋療法学校協会編	医歯薬出版

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	病理学概論Ⅰ			学年	2
講師名	安彦 義裕	単位数	1	コマ数	8
教科目標 疾病の原因や経過及び各種病変の特徴について総論的に学習する。					
講 義 内 容	1	病理学とは何か			
	2	病因(内因・外因)			
	3	病因(内因・外因)			
	4	病因(内因・外因)			
	5	循環障害			
	6	循環障害			
	7	循環障害			
	8	退行変性			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新GPA評価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所
	病理学概論	東洋療法学校協会	医歯薬出版株式会社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	病理学概論Ⅱ			学年	2
講師名	安彦 義裕	単位数	2	コマ数	15
教科目標 疾病の原因や経過及び各種病変の特徴について総論的に学習する。					
講 義 内 容	1	退行変性			
	2	退行変性			
	3	退行変性			
	4	進行性病変			
	5	進行性病変			
	6	進行性病変			
	7	炎症			
	8	炎症			
	9	炎症			
	10	腫瘍			
	11	腫瘍			
	12	免疫異常・アレルギー			
	13	免疫異常・アレルギー			
	14	先天性異常			
	15	先天性異常			
		終講時試験			

評価方法		筆記試験		
評価基準	新評価 (GPA)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教科書及び 参考図書	書籍名		著者名	発行所
	病理学概論		東洋療法学校協会	医歯薬出版株式会社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	リハビリテーション医学Ⅰ			学年	1
講師名	奥村 宣久	単位数	2	コマ数	15
教科目標 リハビリテーションの理念を理解し、リハビリテーション医学の役割を学び、適応疾患の機能回復訓練の施術を習得する。					
講 義 内 容	1	リハビリテーション総論			
	2	医学的リハビリテーションの概要			
	3	運動器の理解と整形外科疾患 ～腰痛、膝痛、扁平足から学ぶ～			
	4	脳・中枢神経の理解と脳血管障害、脊髄損傷 ～認知症から学ぶ～			
	5	呼吸器・心大血管の理解			
	6	障害の評価(症状、機能の評価)			
	7	障害の評価(ADL、IADL、生活のしづらさ)			
	8	医療・保健・福祉とリハビリテーション			
	9	リハビリテーションの実際1(過去～現在)			
	10	リハビリテーションの実際2(現在～未来)			
	11	歩行・異常歩行			
	12	代償という技法;義肢、装具、車椅子、杖			
	13	脳卒中のリハビリテーション			
	14	脊髄損傷のリハビリテーション			
	15	高齢者のリハビリテーション			
		終講時試験			

評価方法		筆記試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教科書 参考図書	書籍名		著者名	発行所
	リハビリテーション医学 第4版		土肥信之	東洋療法学校協会
	リハビリテーションビジュアルハンドブック		落合慈之 監修	学研メディカル秀潤社
	Dr.マスコリーノ Know the Body		ジョセフ・マスコリーノ	医歯薬出版
	医療福祉総合ガイドブック		日本医療ソーシャル研究会	医学書院

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	リハビリテーション医学Ⅱ			学年	2
講師名	奥村 宣久	単位数	1	コマ数	8
教科目標 リハビリテーションの理念を理解し、リハビリテーション医学の役割を学び、適応疾患の機能回復訓練の施術を習得する。					
講 義 内 容	1	地域リハビリテーションの発展			
	2	ノーマライゼーションからインクルージョン 就労・社会参加			
	3	運動器疾患のリハビリテーション(骨折・関節疾患・リウマチ、等)			
	4	内部障害のリハビリテーション			
	5	小児の障害とハビリテーション			
	6	精神障害に対するリハビリテーション(統合失調症)			
	7	精神障害に対するリハビリテーション(気分障害、依存症)			
	8	認知症に対するリハビリテーション リハビリテーションと予防医学			
		終講時試験			

評価方法		筆記試験		
評価基準	新 G P A 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位認定	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教科書及び 参考図書	書籍名		著者名	発行所
	リハビリテーション医学 第4版		土肥信之	東洋療法学校協会
	リハビリテーションビジュアルハンドブック		落合慈之 監修	学研メディカル秀潤社
	Dr.マスコリーノ Know the Body		ジョセフ・マスコリーノ	医歯薬出版
	医療福祉総合ガイドブック		日本医療ソーシャル研究会	医学書院

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	臨床医学総論Ⅱ			学年	2
講師名	宮越 俊明	単位数	2	コマ数	15
教科目標 疾病の診断方法及び観察検査の一般について学習し、実際の臨床応用に適応する知識と技能を習得する。 1年次の知識を応用し、国家試験へ向けての学習をする。					
講 義 内 容	1	第5章 局所の診察			
	2	第5章 局所の診察			
	3	第5章 局所の診察			
	4	第5章 局所の診察			
	5	第6章 神経系の診察			
	6	第6章 神経系の診察			
	7	第6章 神経系の診察			
	8	第6章 神経系の診察			
	9	第7章 運動機能検査			
	10	第7章 運動機能検査			
	11	第7章 運動機能検査			
	12	第7章 運動機能検査			
	13	第8章 その他の診察・第9章 臨床検査法			
	14	第9章 臨床検査法			
	15	第9章 臨床検査法			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新 G P A （ 新 評 価 ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所
	臨床医学総論	奈良 信雄	東洋療法学校協会
	診察と手技がみえる	古谷 信之	メディックメディア

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	臨床医学各論 I			学年	2
講師名	木村 俊洋	単位数	4	コマ数	30
教科目標 各疾患について系統立てた分類に基づき、概要、特徴を理解し、鑑別診断等の知識を習得することで鍼灸施術に必要な応用知識を習得する。					
講 義 内 容	1	第1章 感染症			
	2	第1章 感染症			
	3	第1章 感染症			
	4	第2章 消化器疾患			
	5	第2章 消化器疾患			
	6	第2章 消化器疾患			
	7	第2章 消化器疾患			
	8	第3章 肝・胆・膵臓疾患			
	9	第3章 肝・胆・膵臓疾患			
	10	第3章 肝・胆・膵臓疾患			
	11	第3章 肝・胆・膵臓疾患			
	12	第4章 呼吸器疾患			
	13	第4章 呼吸器疾患			
	14	第4章 呼吸器疾患			
	15	まとめ			
		中間試験			
	16	第9章 循環器疾患			
	17	第9章 循環器疾患			
	18	第9章 循環器疾患			
	19	第9章 循環器疾患			
	20	第9章 循環器疾患			
	21	第10章 血液・造血疾患			
	22	第10章 血液・造血疾患			
	23	第10章 血液・造血疾患			
	24	第6章 内分泌疾患			
	25	第6章 内分泌疾患			
	26	第6章 内分泌疾患			
	27	第6章 内分泌疾患			
	28	第7章 代謝・栄養疾患			
	29	第7章 代謝・栄養疾患			
	30	まとめ			

		終講時試験
--	--	-------

評価方法		筆記試験		
評価基準	新評価 (GPA)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教科書及び 参考図書	書籍名		著者名	発行所
	臨床医学各論		奈良信雄・佐藤千史・他4名	医歯薬出版株式会社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	臨床医学各論Ⅱ			学年	2
講師名	木村 俊洋	単位数	4	コマ数	30
教科目標 各疾患について系統立てた分類に基づき、概要、特徴を理解し、鑑別診断等の知識を習得することで鍼灸施術に必要な応用知識を習得する。					
講 義 内 容	1	第8章 整形外科疾患			
	2	第8章 整形外科疾患			
	3	第8章 整形外科疾患			
	4	第8章 整形外科疾患			
	5	第8章 整形外科疾患			
	6	第8章 整形外科疾患			
	7	第8章 整形外科疾患			
	8	第8章 整形外科疾患			
	9	第12章 リウマチ性疾患・膠原病			
	10	第12章 リウマチ性疾患・膠原病			
	11	第12章 リウマチ性疾患・膠原病			
	12	第12章 リウマチ性疾患・膠原病			
	13	第5章 腎・尿器疾患			
	14	第5章 腎・尿器疾患			
	15	まとめ			
		中間試験			
	16	第5章 腎・尿器疾患			
	17	第5章 腎・尿器疾患			
	18	第5章 腎・尿器疾患			
	19	第5章 腎・尿器疾患			
	20	第11章 神経疾患			
	21	第11章 神経疾患			
	22	第11章 神経疾患			
	23	第11章 神経疾患			
	24	第11章 神経疾患			
	25	第11章 神経疾患			
	26	第13章 その他の領域			
	27	第13章 その他の領域			
	28	第13章 その他の領域			
	29	第13章 その他の領域			
	30	総括			

		終講時試験
--	--	-------

評価方法		筆記試験	
評価基準	新GPA （新評価）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び 参考図書	書籍名		発行所
	臨床医学各論		奈良信雄・佐藤千史・他4名 医歯薬出版株式会社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	衛生学・公衆衛生学Ⅰ			学年	2
講師名	園田 智子	単位数	2	コマ数	15
教科目標 環境問題、高齢者問題等現代社会の問題点と疾病との関連を学習し、施術に必要な物理的・化学的消毒法及び国の衛生諸政策について理解する。					
講 義 内 容	1	第1章 衛生学・公衆衛生学の意義			
	2	第2章 健康①			
	3	第2章 健康②			
	4	第2章 健康③			
	5	第2章 健康④			
	6	第3章 ライフスタイルと健康①			
	7	第3章 ライフスタイルと健康②			
	8	第3章 ライフスタイルと健康③			
	9	第4章 環境と健康①			
	10	第4章 環境と健康②			
	11	第4章 環境と健康③			
	12	第5章 産業保険①			
	13	第5章 産業保険②			
	14	第6章 精神保健			
	15	第7章 母子保健			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新 G P A （ 新 評 価 ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所
	公衆衛生学	鈴木庄亮等	東洋療法学校協会

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	衛生学・公衆衛生学Ⅱ			学年	2
講師名	園田 智子	単位数	1	コマ数	8
教科目標 環境問題、高齢者問題等現代社会の問題点と疾病との関連を学習し、施術に必要な物理的・化学的消毒法及び国の衛生諸政策について理解する。					
講 義 内 容	1	第8章 成人・高齢者保健①			
	2	第8章 成人・高齢者保健②			
	3	第9章 感染症とその対策①			
	4	第9章 感染症とその対策②			
	5	第10章 消毒①			
	6	第10章 消毒②			
	7	第11章 疫学			
	8	第12章 保健統計			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評 価 基 準	新 G P A （ 新 評 価 ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
		単位認定	
参 考 図 書 及 び 教 科 書	書籍名	著者名	発行所
	公衆衛生学	鈴木庄亮等	東洋療法学校協会

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	はりきゅう理論Ⅱ			学年	2
講師名	宮越 俊明	単位数	1	コマ数	8
教科目標					
鍼灸治療が身体に対してどのような影響を与えるかを学び鍼灸治療に対して理解を深める					
講 義 内 容	1	鍼灸の臨床応用・リスク管理について			
	2	リスク管理について			
	3	リスク管理について			
	4	リスク管理について			
	5	鍼灸治効の基礎について			
	6	鍼灸治効の基礎について			
	7	鍼灸治効の基礎について			
	8	鍼灸治効の基礎について			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新GPA （新評価）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所
	はりきゅう理論	東洋療法学校協会	医歯薬出版株式会社
	図解 鍼灸臨床マニュアル	尾崎 昭弘	医歯薬出版株式会社
	鍼灸臨床の科学	西條一止	医歯薬出版株式会社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	鍼灸臨床学			学年	2
講師名	常通 道夫	単位数	2	コマ数	15
教科目標					
東洋医学的な診断と治療法について学ぶ					
講 義 内 容	1	第2節 問診			
	2	第2節 異常音			
	3	第3節 問診 寒熱・飲食			
	4	衰陰・二便			
	5	第4節 切診			
	6	切経			
	7	弁証論治			
	8	気血津液弁証			
	9	中間試験			
	10	論治と治則			
	11	治法			
	12	鍼灸治療の概要			
	13	弁証論治の進め方			
	14	十七手技と撮診			
	15	九刺(巨刺と遠道刺の応用)			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び 参考図書	書籍名		発行所
	新版 東洋医学概論		医道の日本社

単位認定

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	臨床経絡経穴			学年	2
講師名	本田 裕宣	単位数	2	コマ数	15
教科目標 経絡経穴概論を踏まえ、解剖学的な知識と結びつけ、臨床に必要な選穴を習得する。また、奇経八脈や奇穴、現代的研究についても理解する。					
講 義 内 容	1	奇経八脈			
	2	奇経八脈			
	3	奇穴(頭頸部穴・胸腹部穴・背部穴)			
	4	奇穴(上肢部穴・下肢部穴)			
	5	奇穴(よく知られている経穴の組み合わせ)			
	6	経絡・経穴の現代的研究			
	7	十四経脈			
	8	十四経脈			
	9	筋・腱・靱帯・神経・動脈に関する経穴			
	10	筋・腱・靱帯・神経・動脈に関する経穴			
	11	筋・腱・靱帯・神経・動脈に関する経穴			
	12	筋・腱・靱帯・神経・動脈に関する経穴			
	13	筋・腱・靱帯・神経・動脈に関する経穴			
	14	筋・腱・靱帯・神経・動脈に関する経穴			
	15	まとめ			
		試験			

評価方法		実技試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教科書及び参考図書	書籍名		著者名	発行所
	新版 経絡経穴概論		教科書執筆小委員会	医道の日本社
	解剖学 第2版			医道の日本社

単位認定

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	東洋医学臨床論Ⅰ			学年	2
講師名	水森 貴子	単位数	2	コマ数	15
教科目標 鍼灸治療の基本的考え方, 治療計画の立て方, 治療の進め方と治療効果の評価について西洋医学的な考え方と東洋医学的な考え方について学ぶ。さらに具体的な症例トレーニングを行い, 弁証・処方・配穴といった治療概念を理解する。					
講 義 内 容	1	東洋医学臨床論とは, 治療原則と治療概念			
	2	治療原則と治療概念			
	3	頭痛①			
	4	頭痛②			
	5	顔面痛①			
	6	顔面痛②			
	7	顔面麻痺①			
	8	顔面麻痺②			
	9	歯痛			
	10	肩こり・頸肩腕痛・上肢痛について①			
	11	肩こり・頸肩腕痛・上肢痛について②			
	12	肩こり・頸肩腕痛・上肢痛について③			
	13	腰下肢痛・膝痛・運動麻痺について①			
	14	腰下肢痛・膝痛・運動麻痺について②			
	15	腰下肢痛・膝痛・運動麻痺について③			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所
	新版 東洋医学概論		医道の日本社
	新版 経絡経穴概論		医道の日本社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	東洋医学臨床論Ⅱ			学年	2
講師名	水森 貴子	単位数	2	コマ数	15
教科目標 鍼灸治療の基本的考え方, 治療計画の立て方, 治療の進め方と治療効果の評価について西洋医学的な考え方と東洋医学的な考え方について学ぶ。さらに具体的な症例トレーニングを行い, 弁証・処方・配穴といった治療概念を理解する。					
講 義 内 容	1	眼精疲労			
	2	鼻閉と鼻汁			
	3	脱毛症			
	4	めまい			
	5	耳鳴りと難聴			
	6	咳嗽と喘息			
	7	悪心と嘔吐			
	8	便秘と下痢			
	9	月経異常			
	10	排尿障害・ED(勃起不全)			
	11	高血圧症・低血圧症			
	12	食欲不振・肥満			
	13	発熱			
	14	のぼせと冷え			
	15	まとめ			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所
	新版 東洋医学概論		医道の日本社
	新版 経絡経穴概論		医道の日本社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	鍼灸実技			学年	2
講師名	常通 道夫、山本 勝行、田辺 健三、本田 裕宣	単位数	2	コマ数	45
教科目標 基礎実技から臨床実技基礎を結びつける知識と技術を学習する。要穴の取穴・刺鍼・施灸ができ、様々な治療方法を学ぶ。					
講 義 内 容	1	東概第5章講義&実技 九鍼・九刺・十二刺			
	2	五刺・三刺・治療の禁忌			
	3	八法・鍼灸補瀉(六十九難実技)			
	4	十七手技と撮診			
	5	九刺(巨刺と遠道刺の応用)			
	6	候背診の応用			
	7	撮診と八会穴の応用			
	8	腹診と対極療法(鍼編)			
	9	腹診と対極療法(灸編)			
	10	奇経治療			
	11	耳鍼・頭鍼治療			
	12	八綱診断と治療			
	13	本治と標治			
	14	本治と標治			
	15	まとめ			
		試験			
	16	実習室の使い方再確認・刺鍼の復習			
	17	基本刺鍼・基本施灸			
	18	基本刺鍼・基本施灸			
	19	赤羽刺法			
	20	赤羽刺法			
	21	赤羽刺法			
	22	赤羽刺法			
	23	基本刺鍼・基本施灸			
	24	基本刺鍼・基本施灸			
	25	良導絡			
	26	良導絡			
	27	良導絡			
	28	良導絡			
	29	基本刺鍼・基本施灸			
	30	基本刺鍼・基本施灸			

31	M-test
32	M-test
33	M-test
34	M-test
35	灸頭鍼他
36	灸頭鍼他
37	灸頭鍼他
38	灸頭鍼他
39	眼窩鍼他
40	眼窩鍼他
41	眼窩鍼他
42	眼窩鍼他
43	まとめ
44	まとめ
45	まとめ
	終講時試験

評価方法		実技試験		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教科書及び 参考図書	書籍名		著者名	発行所
	ずっと使える！鍼灸臨床BOOK			株式会社滋慶出版
	新版 経絡経穴概論			医道の日本社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	美容・健康鍼灸実技			学年	2
講師名	水森 貴子	単位数	1	コマ数	23
教科目標 基礎実技から臨床実技基礎を結びつける知識と技術を学習する。特に美容に関する治療法やはりきゅうの使い方を習得する。					
講 義 内 容	1	オリエンテーション・美容鍼とは			
	2	美容鍼, 顔面部への刺鍼①			
	3	美容鍼, 顔面部への刺鍼②			
	4	美容鍼, 顔面部への刺鍼③			
	5	美容鍼, 顔面部への刺鍼④			
	6	美容鍼, 顔面部・体幹への刺鍼①			
	7	美容鍼, 顔面部・体幹への刺鍼②			
	8	美容鍼, 顔面部・体幹への刺鍼③			
	9	美容鍼, 顔面部・体幹への刺鍼④			
	10	美容鍼, 顔面部・体幹への刺鍼⑤			
	11	高齢者体験・装具をつけての治療①			
	12	高齢者体験・装具をつけての治療②			
	13	高齢者に多い疾患①			
	14	高齢者に多い疾患②			
	15	高齢者に多い疾患③			
	16	高齢者に多い疾患④			
	17	眼窩鍼①			
	18	眼窩鍼②			
	19	灸頭鍼①			
	20	灸頭鍼②			
	21	Yテープについて			
	22	Yテープについて			
	23	まとめ			
		終講時試験			

評価方法	実技試験		
評価基準	新GPA評価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
	書籍名	著者名	発行所

教科書及び 参考図書	ずっと使える！鍼灸臨床BOOK	医療教育部会鍼灸分科会教材研究委員会	株式会社滋慶出版/つちや書店
	解剖学	河野邦雄・伊藤隆造他	医歯薬出版株式会社
	新版 経絡経穴概論	教科書執筆小委員会	医道の日本

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	スポーツ鍼灸実技			学年	2
講師名	宮越 俊明・上野 正博	単位数	1	コマ数	23
教科目標					
スポーツを行うことで発生する障害や外傷を学びそれらに対応した治療法を身につける。					
講 義 内 容	1	オリエンテーション・筋疲労に対する鍼灸治療			
	2	筋疲労に対する鍼灸治療			
	3	頸部に関わるスポーツ障害の鑑別と治療法			
	4	頸部に関わるスポーツ障害の鑑別と治療法			
	5	肩関節に関わるスポーツ障害の鑑別と治療法			
	6	肩関節に関わるスポーツ障害の鑑別と治療法			
	7	肘関節に関わるスポーツ障害の鑑別と治療法			
	8	腰部に関わるスポーツ障害の鑑別と治療法			
	9	腰部に関わるスポーツ障害の鑑別と治療法			
	10	股関節に関わるスポーツ障害の鑑別と治療法			
	11	股関節に関わるスポーツ障害の鑑別と治療法			
	12	膝関節に関わるスポーツ障害の鑑別と治療法			
	13	膝関節に関わるスポーツ障害の鑑別と治療法			
	14	足関節に関わるスポーツ障害の鑑別と治療法			
	15	足関節に関わるスポーツ障害の鑑別と治療法			
	16	スポーツ選手に対する手技療法：筋疲労に対するアプローチ			
	17	スポーツ選手に対する手技療法：腰部			
	18	スポーツ選手に対する手技療法：背部および肩甲骨まわり			
	19	スポーツ選手に対する手技療法：上肢			
	20	スポーツ選手に対する手技療法：下肢			
	21	スポーツ選手に対する手技療法：頸部			
	22	スポーツ選手に対する手技療法：オイルを用いたアプローチ			
	23	スポーツ選手に対する手技療法：全身応用			
		終講時試験			

評価方法	実技試験		
評 価 基 準	新 G P A （ 新 評 価 ）	A(90点以上)：教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点)：教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点)：教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点)：教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格)：教科目標を達成することができなかった。	
	書籍名	著者名	発行所

単位認定

教科書及び 参考図書	ずっと使える！鍼灸臨床BOOK	医療教育部会鍼灸分科会教材研究委員会	株式会社滋慶出版/つちや書店
	解剖学	河野邦雄・伊藤隆造他	医歯薬出版株式会社
	新版 経絡経穴概論	教科書執筆小委員会	医道の日本

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	臨床実習Ⅰ			学年	2
講師名	水森 貴子	単位数	1	コマ数	23
教科目標					
2回にわたるサポート(陸上)における実習で、患者への気配りや対応、運営方法を学ぶ。					
講 義 内 容	1	オリエンテーション			
	2	サポート実習1			
	3	サポート実習1			
	4	サポート実習1			
	5	サポート実習1			
	6	サポート実習1			
	7	サポート実習1			
	8	サポート実習1			
	9	サポート実習1			
	10	サポート実習1			
	11	サポート実習1			
	12	サポート実習1			
	13	サポート実習1			
	14	サポート実習2			
	15	サポート実習2			
	16	サポート実習2			
	17	サポート実習2			
	18	サポート実習2			
	19	サポート実習2			
	20	サポート実習2			
	21	サポート実習2			
	22	サポート実習2			
	23	サポート実習2			

評価方法		出席・日誌提出による	
評価基準	新 G P A （ 評 価 ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	

教科書及び 参考図書	書籍名	著者名	発行所
	ずっと使える！鍼灸臨床BOOK		株式会社滋慶出版

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	臨床実習Ⅱ			学年	2
講師名	水森 貴子	単位数	1	コマ数	23
教科目標					
2回にわたるサポート(陸上)における実習で、患者への気配りや対応、運営方法を学ぶ。					
講 義 内 容	1	オリエンテーション			
	2	臨床実習前実技試験			
	3	臨床実習前実技試験			
	4	治療院実習			
	5	治療院実習			
	6	治療院実習			
	7	治療院実習			
	8	治療院実習			
	9	治療院実習			
	10	治療院実習			
	11	治療院実習			
	12	治療院実習			
	13	治療院実習			
	14	治療院実習			
	15	治療院実習			
	16	治療院実習			
	17	治療院実習			
	18	治療院実習			
	19	治療院実習			
	20	治療院実習			
	21	治療院実習			
	22	治療院実習			
	23	総括			

評価方法	出席・日誌提出による			
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		

単位認定

教科書及び 参考図書	書籍名	著者名	発行所
	ずっと使える！鍼灸臨床BOOK		株式会社滋慶出版

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	総合演習Ⅱ			学年	1
講師名	本田 裕宣	単位数	2	コマ数	30
教科目標 はり師・きゅう師になるための基礎から応用につなげる力や主体的に取り組む姿勢を身につける。専門的知識の理解を深め、卒業後の臨床で役立つ知識・技術を説明できるようになる。					
講 義 内 容	1	オリエンテーション			
	2	基礎演習(消化器系;口腔・咽頭・食道)			
	3	基礎演習(消化器系;胃・小腸・大腸)			
	4	基礎演習(消化器系;肝臓・胆嚢・膵臓)			
	5	基礎演習(消化器系;腹膜)			
	6	基礎演習(呼吸器系;鼻腔・副鼻腔)			
	7	基礎演習(呼吸器系;咽頭・喉頭)			
	8	基礎演習(呼吸器系;気管・気管支)			
	9	基礎演習(呼吸器系;肺)			
	10	基礎演習(泌尿器系;腎臓・尿路)			
	11	基礎演習(泌尿器系;腎臓・尿路)			
	12	基礎演習(生殖器系;男性生殖器・女性生殖器)			
	13	基礎演習(生殖器系;受精と発生)			
	14	基礎演習(内分泌系;下垂体・松果体・甲状腺)			
	15	基礎演習(内分泌系;上皮小体・副腎)			
	16	基礎演習(内分泌系;膵臓・性腺)			
	17	まとめ			
	18	応用演習(経絡経穴概論;肺～脾経)			
	19	応用演習(経絡経穴概論;肺～脾経)			
	20	応用演習(経絡経穴概論;心～腎経)			
	21	応用演習(経絡経穴概論;心～腎経)			
	22	応用演習(経絡経穴概論;心包～肝経)			
	23	応用演習(経絡経穴概論;心包～肝経)			
	24	地域ボランティア活動計画			
	25	地域ボランティア活動計画			
	26	地域ボランティア成果集計			
	27	地域ボランティア成果集計			
	28	地域ボランティア課題と展望			
	29	まとめ			
	30	まとめ			
		終講時試験			

評価方法		筆記試験		
評価基準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位認定	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教科書及び 参考図書	書籍名		著者名	発行所
	解剖学		河野邦雄・伊藤隆造他	医歯薬出版株式会社
	生理学			医歯薬出版株式会社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	総合演習Ⅲ			学年	2
講師名	中嶋 征一/宮越 俊明/水森 貴子	単位数	2	コマ数	30
教科目標 ・1年次から学習している解剖学を理解し、その中の一部筋肉や神経などに着目し、実技を交えながら確認する。 ・2年間で学んだ知識や技術を深め、様々な実験や文献検索を行い、卒後の臨床へつなげる。					
講 義 内 容	1	第2章 循環器系(静脈)			
	2	第2章 循環器系(門脈)			
	3	第2章 循環器系(リンパ系)			
	4	第2章 循環器系(リンパ本幹)			
	5	第2章 循環器系(上肢下肢のリンパ)			
	6	第2章 循環器系(脾臓/胸腺)			
	7	第8章 神経系(中枢神経)			
	8	第8章 神経系(脳幹)			
	9	第8章 神経系(延髄・橋・中脳)			
	10	第8章 神経系(間脳・小脳)			
	11	第8章 神経系(大脳)			
	12	第8章 神経系(大脳辺縁系/大脳基底核)			
	13	第8章 神経系(伝導路/自律神経/末梢神経)			
	14	第8章 神経系(末梢神経)			
	15	神経系の筋パルス概論及び実習			
		終講時試験			
	16	卒業研究の作成について(過去の卒業研究からテーマの立案)			
	17	卒業研究の作成について(過去の卒業研究からテーマの立案)			
	18	卒業研究の作成について(計画書作成)			
	19	卒業研究の作成について(計画書作成)			
	20	卒業研究の作成について(計画書作成ならびに実験・文献検索)			
	21	卒業研究の作成について(実験・文献検索)			
	22	卒業研究の作成について(実験・文献検索)			
	23	卒業研究の作成について(実験・文献検索)			
	24	卒業研究の作成について(実験・文献検索)			
	25	卒業研究の作成について(途中経過発表)			
	26	問診について			
	27	症例検討① スポーツ外傷・障害(OSCE)			
	28	症例検討② スポーツ外傷・障害(OSCE)			
	29	症例検討③ スポーツ外傷・障害(OSCE)			
	30	症例検討④ スポーツ外傷・障害(OSCE)			
		終講時試験			

評価方法		筆記試験		
評価基準	新 評 価 (G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		<div>単位認定</div>
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教科書 及 び 参 考 図 書	書籍名		著者名	発行所
	解剖学		河野邦雄・伊藤隆造	東洋療法学校協会

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	応用生物学			学年	3
講師名	千葉 信久	単位数	4	コマ数	30
教科目標					
細胞から生物体の構成と各部の働きと応用機能を学ぶ					
講 義 内 容	1・2	生理学の基礎			
	3・4	循環			
	5・6	呼吸			
	7・8	消化と吸収			
	9・10	代謝			
	11・12	体温			
	13・14	排泄			
	15・16	内分泌			
	17・18	生殖・成長と老化			
	19・20	神経1			
	21・22	神経2			
	23・24	筋			
	25・26	運動			
	27・28	感覚			
	29・30	生体の防御機構、身体活動の協調			
		終講時試験			

評価方法		小テスト、終講時試験			
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。			
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。			
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。			
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名		著者名		発行所
	生理学 第3版		内田さえ他		医歯薬出版

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	解剖学Ⅴ			学年	3
講師名	佐藤 英樹	単位数	2	コマ数	15
教科目標 1・2年次に習得した内容に対して理解を深める。					
講 義 内 容	1	脳の役割・分類・機能について			
	2	大脳・中脳・小脳・脳幹について			
	3	神経について			
	4	脳神経・脊髄神経の枝について			
	5	目の構造について			
	6	視覚・目の感覚・運動について			
	7	耳の構造について			
	8	聴覚・平衡感覚・耳の感覚・運動について			
	9	口腔内の構造について			
	10	味覚・口腔内の感覚・嚥下・発声について			
	11	上肢について			
	12	上肢の筋肉・感覚について			
	13	下肢について			
	14	下肢の筋肉・感覚について			
	15	総復習			
		終講時試験			

評価方法	実技試験		
評 価 基 準	新 （ G P A ） 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所
	解剖学	河野邦雄・伊藤隆造他	医歯薬出版株式会社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	はりきゅう理論Ⅲ			学年	3
講師名	宮越 俊明	単位数	1	コマ数	8
教科目標 鍼灸師にとって必要な基礎知識を学び鍼灸治療に対して理解を深める					
講 義 内 容	1	鍼灸治効の基礎について			
	2	鍼灸治効の基礎について			
	3	鍼灸治効の基礎について			
	4	鍼灸療法の一般治効理論について			
	5	鍼灸療法の一般治効理論について			
	6	鍼灸療法の一般治効理論について			
	7	関連学説			
	8	関連学説			
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
		終講時試験			

評価方法	試験		
評価基準	新 評 価 (GPA)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位認
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所
	はりきゅう理論	東洋療法学校協会	医歯薬出版株式会社
	図解 鍼灸臨床マニュアル	尾崎 昭弘	医歯薬出版株式会社
	鍼灸臨床の科学	西條 一止	医歯薬出版株式会社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	東洋医学臨床論Ⅲ			学年	3
講師名	江口 瓊	単位数	2	コマ数	15
教科目標 鍼灸治療の基本的考え方, 治療計画の立て方, 治療の進め方と治療効果の評価について西洋医学的な考え方と東洋医学的な考え方について学ぶ。さらに具体的な症例トレーニングを行い, 弁証・処方・配穴といった治療概念を理解する。					
講 義 内 容	1	①気のまとめ②陰陽五行③五臓六腑④五行図			
	2	①気のまとめ②陰陽五行③五臓六腑④五行図			
	3	⑤十二経脈⑥奇経八脈⑦六経病証			
	4	⑤十二経脈⑥奇経八脈⑦六経病証			
	5	⑧古代刺法・鍼灸補瀉法について			
	6	⑧古代刺法・鍼灸補瀉法について			
	7	⑨「病因説」⑩四診(腹診・舌診・脈診・指紋)			
	8	⑨「病因説」⑩四診(腹診・舌診・脈診・指紋)			
	9	⑪「難経六十九難」について			
	10	⑫五臓の「証」について			
	11	⑬「八綱辨証」について			
	12	⑬「八綱辨証」について			
	13	⑭「辨証論治」で症例の分析～			
	14	⑭「辨証論治」で症例の分析～			
	15	まとめ			
		終講時試験			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新 G P A （ 評 価 ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所
	新版 東洋医学概論		医道の日本社
	新版 経絡経穴概論		医道の日本社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	病態生理			学年	3
講師名	中嶋 征一	単位数	2	コマ数	15
教科目標					
今まで学習した解剖・生理・病理の知識を活用して、病気の症状が起こる理由を学習する					
講 義 内 容	1	消化器			
	2	消化器			
	3	消化器			
	4	消化器			
	5	呼吸器			
	6	呼吸器			
	7	呼吸器			
	8	呼吸器			
	9	循環器			
	10	循環器			
	11	循環器			
	12	循環器			
	13	泌尿器			
	14	泌尿器			
	15	泌尿器			
		終講時試験			

評価方法	実技試験		
評価基準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び 参考図書	書籍名		発行所
	解剖学 第二版		医歯薬出版社
	生理学 第3版		医歯薬出版社
	病理学概論 第2版		医歯薬出版社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	関係法規			学年	3
講師名	上野 正博	単位数	2	コマ数	15
教科目標 社会における人の権利、人権を守ることを前提に医療従事者として必要な医事福祉法規を中心に学ぶ。また変りゆく医療に対応するために高齢者の医療の確保に関する法律、障がい者自立支援法、医療保険・社会保障制度についても学ぶ。					
講 義 内 容	1	序論 法の概要、国家試験の関係法規の傾向			
	2	第1章 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律①			
	3	第1章 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律②			
	4	第1章 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律②			
	5	第1章 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律②			
	6	第2章 関係法規			
	7	第2章 関係法規			
	8	第2章 関係法規			
	9	第2章 関係法規			
	10	第2章 関係法規			
	11	法制度の沿革			
	12	法令等			
	13	開業シミュレーション			
	14	開業シミュレーション			
	15	まとめ			
		終講時試験			

評価方法	実技試験		
評価基準	新 （G P A ） 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所
	関係法規 第7版	前田 和彦	医歯薬出版株式会社

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	応用鍼灸実技Ⅰ			学年	3
講師名	宮越俊明・水森貴子・本田裕宣・他	単位数	3	コマ数	68
教科目標					
基礎から応用までの理論と実際を鍼灸を含め、総合的な手技療法を学ぶ。					
講 義 内 容	1	手技療法1			
	2	手技療法2			
	3	手技療法3			
	4	手技療法4			
	5	手技療法5			
	6	手技療法6			
	7	手技療法7			
	8	手技療法8			
	9	西洋医学的な診断術・施術練習			
	10	西洋医学的な診断術・施術練習			
	11	西洋医学的な診断術・施術練習			
	12	西洋医学的な診断術・施術練習			
	13	西洋医学的な診断術・施術練習			
	14	西洋医学的な診断術・施術練習			
	15	西洋医学的な診断術・施術練習			
	16	西洋医学的な診断術・施術練習			
	17	西洋医学的な診断術・施術練習			
	18	西洋医学的な診断術・施術練習			
	19	西洋医学的な診断術・施術練習			
	20	西洋医学的な診断術・施術練習			
	21	西洋医学的な診断術・施術練習			
	22	西洋医学的な診断術・施術練習			
	23	西洋医学的な診断術・施術練習			
	24	西洋医学的な診断術・施術練習			
	25	まとめ			
	26	まとめ			
	27	まとめ			
	28	まとめ			
	29	認定実技試験について			
	30	灸実技 失眠への交互施灸			
	31	灸実技 交互施灸と八分灸			
	32	灸実技 交互施灸と八分灸			
	33	灸実技 交互施灸と八分灸 ペアで8分計測			
	34	灸実技 交互施灸と八分灸 グループに分かれて実施			
	35	灸実技 交互施灸と八分灸 グループに分かれて実施			
	36	灸実技 リハビリ(脳卒中)			
	37	灸実技 リハビリ(脊髄損傷)			
	38	灸実技 リハビリ(脳性麻痺)			
	39	灸実技 リハビリ(切断)			
	40	灸実技 リハビリ(整形外科疾患)			
	41	灸実技 リハビリ(パーキンソン)			
	42	灸実技 リハビリ(呼吸器疾患)			
	43	灸実技 リハビリ(心疾患)			
	44	まとめ			
	45	まとめ			
	46	まとめ			
	47	医療面接について(聴取項目等)			
	48	血圧測定について(触診法・聴診法等)			
	49	徒手検査法(上肢)			
	50	徒手検査法(上肢)			
	51	徒手検査法(下肢)			
	52	徒手検査法(下肢)			
	53	ROMについて(ゴニオメーターの使い方)、頸部ROMの測定方法			

54	ROMについて(ゴニオメーターの使い方)、頸部ROMの測定方法
55	腱反射について
56	腱反射について
57	血圧測定・反射の復習
58	徒手検査・ROMの復習
59	血圧測定・反射の復習
60	徒手検査・ROMの復習
61	まとめ
62	テーピングの理論 足関節のテーピング
63	足関節・肘関節・手関節のテーピング
64	足関節・肘関節・手関節のテーピング
65	スポーツ外傷・障害に対する治療法
66	スポーツ外傷・障害に対する治療法
67	スポーツ外傷・障害に対する治療法
68	スポーツ外傷・障害に対する治療法

評価方法		実技試験	
評価基準	（新G 評P 価A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び 参考図書	書籍名		著者名
	ずっと使える！鍼灸臨床BOOK		医療教育部会鍼灸分科会教材研究委員会
	解剖学		河野邦雄・伊藤隆造他
	新版 経絡経穴概論		教科書執筆小委員会
		発行所	
		株式会社滋慶出版/つちや書店	
		医歯薬出版株式会社	
		医道の日本	

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	応用鍼灸実技Ⅱ			学年	3
講師名	常通道夫・宮越俊明・水森貴子・本田裕宣・江口瓊他	単位数	6	コマ数	135
教科目標					
基礎から応用までの理論と実感を鍼灸を含め、総合的な手技療法を学ぶ。					
講 義 内 容	1	中医学と言うのは～中医学の歴史と現状 名著作の紹介、中医学の継承と発展			
	2	経絡経穴とは？正確な取穴法とは？ 鍼灸業界の言語として、効果を高める			
	3	中国針、棒灸の特徴、臨床応用 「氣至病所」、「得氣」の感覚と効果			
	4	火罐(吸玉)療法について 火罐の歴史・効能・操作・注意事項			
	5	常用穴の取穴と刺針の復習 ①首と肩部位			
	6	実技：風池・天柱・完骨・肩井・曲垣・天宗・巨骨・肩貞・肩中俞・肩外俞・大杼			
	7	常用穴の取穴と刺針の復習 ②上肢部			
	8	実技：肩髃・肩髃・臂臑・曲池・尺沢・孔最手三里・列缺・外関・合谷・神門			
	9	常用穴の取穴と刺針の復習 ③顔面部			
	10	実技：翳風・太陽・四白・下関・地倉・頬車・頭維・陽白・攢竹・迎香・印堂・人中			
	11	常用穴の取穴と刺針の復習 ④腰・臀・大腿部			
	12	実技：腎俞・大腸俞・小腸俞・腰眼・腰陽関・秩辺・環跳・阿是穴・承扶・殷門			
	13	常用穴の取穴と刺針の復習 ⑤膝から足			
	14	実技：血海・梁丘・鶴頂・陰陵泉・陽陵泉・曲泉・膝眼・足三里・三陰交・丘墟			
	15	常用穴の取穴と刺針の復習 ⑥胸腹部			
	16	実技：天突・膻中・巨闕・中脘・関元・中府・天枢・期門・章門・廉泉・扶突・大横			
	17	実技：天突・膻中・巨闕・中脘・関元・中府・天枢・期門・章門・廉泉・扶突・大横			
	18	痺証について(痛、しびれ、腫脹、変形、障害)：「風寒湿三氣雜至合而為痺也」、特徴			
	19	痺証について(痛、しびれ、腫脹、変形、障害)：「風寒湿三氣雜至合而為痺也」、特徴			
	20	痺証の臨床応用 ①寝違い(風寒痺証)：実例の紹介、選穴や治療方法、注意事項			
	21	痺証の臨床応用 ①寝違い(風寒痺証)：実例の紹介、選穴や治療方法、注意事項			
	22	痺証の臨床応用 ②肩こりの原因は色々ある、辨証論治を基本とした治療法とは・・・			
	23	痺証の臨床応用 ②肩こりの原因は色々ある、辨証論治を基本とした治療法とは・・・			
	24	実技：肩こりについて辨証論治に基づく選穴、刺鍼法、注意事項			
	25	実技：肩こりについて辨証論治に基づく選穴、刺鍼法、注意事項			
	26	痺証の臨床応用 ③五十肩(肩関節痛、頸肩腕痛、上肢痛)の鍼灸治療について			
	27	痺証の臨床応用 ③五十肩(肩関節痛、頸肩腕痛、上肢痛)の鍼灸治療について			
	28	実技：実例の紹介。問診・カルテ記入、辨証論治に基づく選穴、刺鍼法、注意事項			
	29	実技：実例の紹介。問診・カルテ記入、辨証論治に基づく選穴、刺鍼法、注意事項			
	30	痺証の臨床応用 ④リウマチ(風寒痺証)			
	31	痺証の臨床応用 ④リウマチ(風寒痺証)			
	32	実技：実例の紹介。問診・カルテ記入、辨証論治に基づく選穴、刺鍼法、注意事項			
	33	実技：実例の紹介。問診・カルテ記入、辨証論治に基づく選穴、刺鍼法、注意事項			
	34	痺証の臨床応用 ⑤腰下肢痛(腎虚、寒痺証)			
	35	痺証の臨床応用 ⑤腰下肢痛(腎虚、寒痺証)			
	36	実技：実例の紹介。問診・カルテ記入、辨証論治に基づく選穴、刺鍼法、注意事項			
	37	実技：実例の紹介。問診・カルテ記入、辨証論治に基づく選穴、刺鍼法、注意事項			
	38	痺証の臨床応用 ⑥下肢痛(坐骨神経痛)			
	39	痺証の臨床応用 ⑥下肢痛(坐骨神経痛)			
	40	実技：実例の紹介。問診・カルテ記入、辨証論治に基づく選穴、刺鍼法、注意事項			
	41	実技：実例の紹介。問診・カルテ記入、辨証論治に基づく選穴、刺鍼法、注意事項			
	42	痺証の臨床応用 ⑦膝痛様々な原因と症状の鑑別基準と経絡経穴の選び方。			
	43	痺証の臨床応用 ⑦膝痛様々な原因と症状の鑑別基準と経絡経穴の選び方。			
	44	実技：辨証論治に基づく選穴、刺鍼法、注意事項			
	45	実技：辨証論治に基づく選穴、刺鍼法、注意事項			
		試験			
	46	糖尿病について：西洋医学の診断基準と中医学の辨証論治法と経穴の選び方。			
	47	実技：弁証論治に基づく選穴、刺鍼法、注意事項			
	48	婦人科について：生理不順・生理痛・不妊症・不正出血などの辨証論治方			
	49	実技：実際の症例を検討し、弁証論治に基づく選穴、刺鍼法、注意事項			
	50	自律神経失調症について：更年期障害・不眠症・冷え性・めまい耳鳴・突発難聴・不安などの治療法			
	51	実技：実際の症例を検討し、弁証論治に基づく選穴、刺鍼法、注意事項			
	52	顔面痛と顔面麻痺について			

講 義 内 容	53	実技:実際の症例を検討し、弁証論治に基づく選穴、刺鍼法、注意事項
	54	中風後遺症について:鍼灸治療の役割と体針の取穴法とパルスの応用
	55	中風後遺症の頭皮針の取穴法、刺入法
	56	耳針について:耳針の考え方、取穴法、治療法
	57	実技:操作と弁証論治に基づく選穴、刺鍼法、注意事項
	58	鍼灸で急症の応用:生活中でよくみられる症状の応急手当の取穴と刺鍼法
	59	実技:操作と刺鍼法、注意事項
	60	まとめ
		試験
	61	オリエンテーション(講義内容・目標などの説明)
	62	オリエンテーション(講義内容・目標などの説明)
	63	治療デモ見学
	64	治療デモ見学
	65	灸施術のスキルチェック
	66	灸施術のスキルチェック
	67	鍼刺入スキルチェック
	68	鍼刺入スキルチェック
	69	【灸練習】(紙…透熱灸15壮/分・八分灸3壮/分)
	70	【灸練習】(紙…透熱灸15壮/分・八分灸3壮/分)
	71	体表解剖復習
	72	体表解剖復習
	73	【灸練習】(紙…透熱灸15壮/分・八分灸3壮/分)
	74	【灸練習】(紙…透熱灸15壮/分・八分灸3壮/分)
	75	手の陰経・要穴(原・郄・絡・合)の取穴実習 (人体…失眠交互施灸・八分灸)
	76	手の陰経・要穴(原・郄・絡・合)の取穴実習 (人体…失眠交互施灸・八分灸)
	77	【灸練習】(紙…透熱灸15壮/分・八分灸3壮/分)
	78	【灸練習】(紙…透熱灸15壮/分・八分灸3壮/分)
	79	手の陽経・要穴(原・郄・絡・合)の取穴実習 (人体…失眠交互施灸・八分灸)
	80	手の陽経・要穴(原・郄・絡・合)の取穴実習 (人体…失眠交互施灸・八分灸)
	81	【灸練習】要穴の取穴・人体への施灸実習
	82	【灸練習】要穴の取穴・人体への施灸実習
	83	足の陰経・要穴(原・郄・絡・合)の取穴実習 (人体…失眠交互施灸・八分灸)
	84	足の陰経・要穴(原・郄・絡・合)の取穴実習 (人体…失眠交互施灸・八分灸)
	85	【灸練習】要穴の取穴・人体への施灸実習
	86	【灸練習】要穴の取穴・人体への施灸実習
	87	足の陽経・要穴(原・郄・絡・合)の取穴実習 (人体…失眠交互施灸・八分灸)
	88	足の陽経・要穴(原・郄・絡・合)の取穴実習 (人体…失眠交互施灸・八分灸)
	89	【灸練習】要穴の取穴・人体への施灸実習
	90	【灸練習】要穴の取穴・人体への施灸実習
	91	【灸練習】要穴の取穴・人体への施灸実習
	92	【灸練習】要穴の取穴・人体への施灸実習
	93	要穴(原・郄・絡・合)の取穴実技テスト
	94	要穴(原・郄・絡・合)の取穴実技テスト
	95	【灸練習】鍼管あり(トイレットペーパーへの刺入)/鍼管なし(委中への刺入)押入法の解説・デモ・実習
	96	【灸練習】鍼管あり(トイレットペーパーへの刺入)/鍼管なし(委中への刺入)押入法の解説・デモ・実習
	97	反応点の種類と探査方法の解説・切診(脈診・腹診・切経)の解説・デモ
	98	反応点の種類と探査方法の解説・切診(脈診・腹診・切経)の解説・デモ
	99	【灸練習】切診(脈診・腹診・切経)の実習、鍼管なし(委中への刺入)の実習
	100	【灸練習】切診(脈診・腹診・切経)の実習、鍼管なし(委中への刺入)の実習
	101	鍼管なし(委中への刺入)の実習・切経による反応点(指標)の探査の解説・デモ
	102	鍼管なし(委中への刺入)の実習・切経による反応点(指標)の探査の解説・デモ
	103	【灸練習】気の世界と人体における気の世界の概念の解説、脈診(六部定位脈診)の解説・デモ
	104	【灸練習】気の世界と人体における気の世界の概念の解説、脈診(六部定位脈診)の解説・デモ
	105	脈診(六部定位脈診)の実習
	106	脈診(六部定位脈診)の実習
	107	【灸練習】腹部接触鍼の解説・デモ、実習(てい鍼・豪鍼)
	108	【灸練習】腹部接触鍼の解説・デモ、実習(てい鍼・豪鍼)
	109	腹診・脈診と腹部接触鍼後変化の解説・デモ、確認の実習
	110	腹診・脈診と腹部接触鍼後変化の解説・デモ、確認の実習
	111	【灸練習】脈の調整(原穴の意味)の解説・デモ
	112	【灸練習】脈の調整(原穴の意味)の解説・デモ
	113	脈診と原穴・69難による脈の調整(五行穴の意味)の実習

ー	114	脈診と原穴・69難による脈の調整(五行穴の意味)の実習
	115	脈診と原穴・69難による脈の調整(五行穴の意味)の実習
	116	脈診と原穴・69難による脈の調整(五行穴の意味)の実習
	117	まとめ
	118	まとめ
	119	まとめ
	120	まとめ
	121	試験
	122	東概第5章講義 & 実技 九鍼・九刺・十二刺
	123	五刺・三刺・治療の禁忌
	124	八法・鍼灸補瀉(六十九難実技)
	125	十七手技と撮診
	126	九刺(巨刺と遠道刺の応用)
	127	候背診の応用
	128	撮診と八会穴の応用
	129	腹診と対極療法(鍼編)
	130	腹診と対極療法(灸編)
	131	奇経治療
	132	耳鍼・頭鍼治療
	133	八綱診断と治療
	134	本治と標治
	135	本治と標治
	135	まとめ
	135	終講時試験

評価方法		実技試験		
評価基準	新G 評P 価A ー	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		単位認定
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教科書及び 参考図書	書籍名		著者名	発行所
	ずっと使える！鍼灸臨床BOOK		医療教育部会鍼灸分科会教材研究委員会	株式会社滋慶出版/つちや書店
	解剖学		河野邦雄・伊藤隆造他	医歯薬出版株式会社
	新版 経絡経穴概論		教科書執筆小委員会	医道の日本

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	臨床実習Ⅲ			学年	3
講師名	本田 裕宣・水森 貴子・宮越 俊明・常通道夫他	単位数	2	コマ数	45
教科目標 治療院における実習で、患者への気配りや対応、運営方法を学ぶ。					
講 義 内 容	1～45	治療院実習			

評価方法	出席・日誌提出による		
評 価 基 準	新 （ G P A ） 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所
	ずっと使える！鍼灸臨床BOOK		株式会社滋慶出版

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	応用演習			学年	3
講師名	本田 裕宣・水森 貴子・宮越 俊明・常通道夫他	単位数	2	コマ数	30
教科目標 全教科を通じてはり師・きゅう師としての知識を理解する。					
講 義 内 容	1	第1回 演習問題と解説	17	第9回 演習問題と解説	
	2	第1回 演習問題と解説	18	第9回 演習問題と解説	
	3	第2回 演習問題と解説	19	第10回 演習問題と解説	
	4	第2回 演習問題と解説	20	第10回 演習問題と解説	
	5	第3回 演習問題と解説	21	第11回 演習問題と解説	
	6	第3回 演習問題と解説	22	第11回 演習問題と解説	
	7	第4回 演習問題と解説	23	第12回 演習問題と解説	
	8	第4回 演習問題と解説	24	第12回 演習問題と解説	
	9	第5回 演習問題と解説	25	第13回 演習問題と解説	
	10	第5回 演習問題と解説	26	第13回 演習問題と解説	
	11	第6回 演習問題と解説	27	第14回 演習問題と解説	
	12	第6回 演習問題と解説	28	第14回 演習問題と解説	
	13	第7回 演習問題と解説	29	第15回 演習問題と解説	
	14	第7回 演習問題と解説	30	第15回 演習問題と解説	
	15	第8回 演習問題と解説		終講時試験	
	16	第8回 演習問題と解説			

評価方法	筆記試験		
評価基準	新 G P A （ 評 価 ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び参考図書	書籍名	著者名	発行所

＜2020年度 鍼灸師学科 シラバス＞

科目名	総合演習Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ			学年	3
講師名	宮越俊明・水森貴子・本田裕宣・中嶋征一他	単位数	5	コマ数	75
教科目標					
3年間の集大成としての卒業論文を作成し、鍼灸師としての臨床につなげていく。					
講 義 内 容	1	肝炎(A・B・C・D・E)			
	2	肝硬変			
	3	肝癌・胆石症・胆嚢炎			
	4	胆嚢癌・急性膵炎・慢性膵炎			
	5	呼吸器解剖・上気道炎・カゼ症候群			
	6	インフルエンザ・麻疹・風疹・水痘・带状疱疹			
	7	ワクチン(生・不活化・トキソイド)急性気管支炎・肺炎			
	8	肺結核・閉塞性肺疾患・COPD			
	9	肺気腫・慢性気管支炎			
	10	慢性気管支炎・気管支喘息・特発性肺繊維症			
	11	肺癌・気胸・気管支拡張症			
	12	過換気症候群・肺塞栓症(血栓・塞栓・梗塞の違い)			
	13	先天性心疾患(ファロー四徴症・心房中隔欠損症・心室中隔欠損症・動脈管開存症)			
	14	左心不全・右心不全・僧房弁狭窄症			
	15	狭心症・心筋梗塞			
		中間試験			
	16	不整脈・高血圧			
	17	低血圧・大動脈瘤・大動脈解離・バージャー病・閉塞性動脈硬化症・レイノー病・動脈硬化			
	18	拡張型心筋症・肥大型心筋症・貧血総論			
	19	鉄欠乏性貧血・巨赤芽球性貧血・悪性貧血・再生不良性貧血・溶血性貧血			
	20	白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫			
	21	特発性血小板減少性紫斑病・血友病・DIC			
	22	急性糸球体腎炎・慢性糸球体腎炎・急性腎不全			
	23	慢性腎不全・尿路感染症・腎盂腎炎・膀胱炎			
	24	尿路結石・腎細胞癌・膀胱癌			
	25	前立腺肥大・前立腺癌			
	26	失行・失認・昏睡・半昏睡・傾眠・昏迷			
	27	運動麻痺			
	28	折りたたみナイフ現象・歯車現象・鉛管現象			
	29	脳梗塞・脳出血・ブラウン・セカール症候群			
	30	脳出血・クモ膜下出血			
		終講時試験			
	31	論文作成			
	32	論文作成			
	33	論文作成			
	34	論文作成			
	35	論文作成			
	36	論文作成			
	37	発表			
	38	発表			
	39	総復習			
	40	総復習			
	41	総復習			
	42	総復習			
	43	総復習			
	44	総復習			
	45	総復習			
	46	総復習			
	47	総復習			
	48	総復習			
	49	総復習			
	50	総復習			
	51	総復習			
	52	総復習			
	53	総復習			
	54	総復習			
	55	総復習			
	56	総復習			
	57	総復習			
	58	総復習			
	59	総復習			
	60	総復習			
	61	総復習			
	62	総復習			
	63	総復習			
	64	総復習			
	65	総復習			
	66	総復習			

	67	総復習
	68	総復習
	69	総復習
	70	総復習
	71	総復習
	72	総復習
	73	総復習
	74	総復習
	75	総復習
		終講時試験

評価方法		実技試験	
評価基準	新 G 評 P 価 A （	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	単位認定
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教科書及び 参考図書	書籍名		発行所